

今からちょうど20年くらい前、私の友人の豊橋魚市場の社長、野沢東三郎さんから、「この頃市場の容器も発泡スチロールが多くなって風が吹くと散乱して困る。そこで、毎年5月30日に語呂合わせをして“ゴミゼロ運動”を始めた。これからは必ず必要な運動だから、豊橋まで応援に来ないか」と誘われて、県下のロータリークラブ、県下の市町村へ呼びかけたところ、100名を越える人達が豊橋へ集まってくれました。

それがきっかけで、私は国際ロータリーのゴミゼロの委員長となり、ゴミゼロ運動は関東一都八県へと「燎原の火」となって大きく広がって行きました。密かに誇る快挙でありました。

あれから20年、豊橋市役所の前の大きな石碑に「戦争は人の心に起こるものですから、私達は人の心に平和を作らなければならない。」と国連憲章の文言が記されていました。

ゴミも、不況も人の心の中から起こるものです。私達は心の中からゴミを取り除き、心の中に夢と自信と勇気を取り戻すことによって不況は乗り越えられると私は思っています。

ゴミゼロ運動の基本理念は「ゴミを捨てることによって、ゴミを捨てない心を作ること」が目的でありました。

この野沢さんの心を生かして、君津市でも季節の変わり目毎にでも、市環境部と商工会議所女性会、青年部の共催により、リサイクル展を開催し不用になった物を再利用することが出来る仕組みづくり。粗大ゴミなど、多く出さないで済む様に・・・モノを大切に生かして使う心、分かち合って活かす心・・・育てる企画をしたいものです。

そして、次の子供達が新しい時代を堅実に生きるための親達の教えとしたいものです。